

ニイガタ地域福祉協会 広報誌

T-JOURNAL

No.1
2015



“角田山・佐潟” photo by Masako Naito

理事長インタビュー

「実務者研修と介護のこれから」

一般社団法人新潟地域福祉協会 理事長 岡田 史

講師コラム

「介護過程の学び」 前田 喜代子

研修案内

実務者研修（通信課程）

実務者研修教員講習会

編集後記

「事務局つれづれ日記」

一般社団法人 新潟地域福祉協会

実務者研修と介護のこれから

理事長インタビュー

介護・福祉は、いまや超高齢社会の日本を支える大きな骨格的分野と言っても、過言ではありません。また、その分野で活躍するのが介護職ですが、介護の上級資格として認定されている唯一の国家資格が介護福祉士です。その介護福祉士の受験資格に、平成29年1月の試験から、3年以上の実務経験に加えて、実務者研修の修了が義務付けられることになりました。そこで新潟地域福祉協会の理事長で、新潟医療福祉大学・社会福祉学部の岡田史教授に、実務者研修の重要性と新潟地域福祉協会での現在の取り組みについてお話を伺いました。

平成28年度(第29回)試験から受験資格が大きく変わる

「社会福祉士および介護福祉士法」の改正により、介護福祉士の資格取得方法が大きく変わります。これまでは、養成施設（専門学校や福祉系大学）を卒業するか、3年以上の実務経験者が介護福祉士の国家試験を受験し、合格するかの方法で取得することができました。しかし平成28年度（第29回）介護福祉士国家試験からは、実務経験ルートによる受験者は、「実務経験3年以上」かつ「実務者研修修了」の条件を満たすことが必要となります。

現在、国家試験が免除されている養成施設卒業生については、平成29年度から受験となる見込みですが、ここではその説明は省略しますね。

介護福祉士の資格取得要件が大きく変化したため、早いうちに準備することができるように、私ども新潟地域福祉協会でも実務者研修の実施に取り組み、その案内を出しているのですが、まだこの改正のことがあまり現場には浸透してないのか、反応が今一つの状況です。というのも、

実務者研修義務付けについては、国が今まで2度方針を変えていますので、「今回もまた変わるのではないか」という疑心暗鬼になって、受講しなければという気持ちが起こっていないのでは、と思います。

実務とともに、理論も学び、より成長した介護福祉士に

そもそもこの実務者研修が取り入れられた経緯は、実務経験3年だけで国家試験を受験できるというところに問題があったからです。ですからこの法改正は、介護福祉士が、理論的なこともしっかり学ぶことによって、実践と理論を統合させた介護のスペシャリストとして認められる国家資格となるという意図があったのです。

これまで、実務経験ルートでの受験は、介護福祉の領域で3年間の実務経験だけで国家試験を受験してきました。受験対策の講座に出たり、自分でテキストを読んだり、ほとんど独学で取り組んできたわけです。合格率がほぼ毎年50パーセントですが、この学習でいいのかしらと不安を抱えながら受験してきた人が多かったと思います。

それが、今回実務者研修が義務付けられたことで、介護福祉士として学ぶべきことや考えるべきことが具体的な形で明らかになり、学習環境が整ってきました。

このような状況を、専門職としての学びを考える機会、介護福祉士の質をさらに向上させる機会としてとらえて、国家試験を受験する皆さんが、一日でも早く受講に取り掛かれるように呼びかけようと思いました。

国家試験は毎年16~17万人が受験しています。平成28年度から全員が実務者研修を受けるとなると、受け



一般社団法人新潟地域福祉協会
理事長 岡田 史

る枠や研修の場所にも制限があって、受講できない事態も考えられますので、少しでも早く取り組んでもらいたいと思ったのです。

実務者研修で自分自身のスキルアップを目指す！

先にものべましたが、実務者研修は、国の方針によって2回延期されています。そのため、「国の方針がまた変わるのではないか」と考えることも無理のないことだと思います。けれど、せっかく実務者研修のシステムができて、勉強してスキルアップできるチャンスです。ぜひこの機会に学んでほしいと思います。

それに、これからは外国の人も介護に従事するようになってきます。言語や文化が異なる人にも、日本の介護を伝えることが求められる時代となります。物事を相手に分かってもらえるように伝えるには、介護を理論的に言葉で表現できる力が必要です。さらに、相手が理解できるように話す力が求められます。

介護は、人間を相手に行われる行為ですので、ただ方法だけを学んで実践すれば良いというものではありません。相手の状況を理解した上で、適切な介護技術を提供することが求められます。このプロセスをいろいろな人に理解してもらうには、その方法の前提となる理論や根拠をしっかりと学び、伝える力を身につける必要があります。実務者研修はまさにそこを学びます。

「How to」ではなく、根拠のある介護を学ぶ

私どもの協会の実務者研修は、入校式から医療的ケア演習までスクーリングは8日間です。この内の6日間は介護についての考え方や実技を

学びます。この介護実技を学ぶ時は、受講者に「How to」を教えるのではなく、なぜそうなるのかという根拠を考えながら学んでもらいます。

例えば立つ時は、まず足を引いて、浅座りになります。どうして浅座りになるのかというと、私たちの体の重心はおへその下あたりにあるのですが、その重心を前の方に出して立ち上がりやすくするためです。ここでは立ち上がりの詳しいメカニズムは省略しますが、介護において大切なのは、重心が前の方に移動するということは、次はどのような動作になるのか、そこにはどのような危険性があるのかを予知した上で、必要な介護を考えて実践することなのです。

実務者研修の介護過程Ⅲでは、介護の行為の一つ一つについてこのような視点で学びます。このように根拠のある介護を学ぶことが、責任を果たす仕事をするにつながっていくのだと思います。

介護過程Ⅲのスクーリングで学習する「理論と実践」に関連するのですが、PDCAサイクルとって、一般の企業で事業活動における生産管理や、品質管理などの管理業務を円滑に進める手法があります。これはPlan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善することをいいますが、その考え方をを用いて介護サービスを提供するのが介護過程の基本です。

具体的には、「利用者さんの状況をしっかりと把握し、どうすればその人に喜んでもらえるか、それを実現したら、どんな生活になるのか。その目標に添って考え、実際にやってみましょう」という流れになります。

従来は半身マヒでうまく歩けない人は車椅子対応、右利きの人が右マ

ヒになったら利き手交換を……というように、すぐ対応の仕方の話になりました。でも実際は、車いす利用になると家での生活が困難になってしまったり、利き手交換には、大変な苦労があったりと、すぐには問題を解決できない場合が多いのです。対応を考える前の「状況を把握分析し、なぜ、どうなりたいのか、そのためにどうするのか」という思考が大切なのです。

かく言う私自身も、以前は「対応型」の人間でした。でも、今は利用者さんから「なぜその対応をしたのか」と、理由を求められるようになりました。私に説明することの必要性・重要性を教えてくれたのは、利用者さんとその家族の皆さんでした。

カタチで学ぶことと、根拠を学ぶことは違います。自分たちのやっていることの根拠をきちんと言語化できることが、信頼される介護力の習得につながります。

県内で唯一 実務者研修教員講習会も

私どもの協会では、実務者研修を行っています。実務者研修の介護過程のスクーリングを担当する教員のための講習会もしています。これは恐らく、県内で唯一だと思います。平成24年5月から行っていますが、初年度は全体の半数を占めるほど、県外からの受講者が目立ちました。これらの人たちは、自分の県では実施していないことや、受講料が安いことなどから、積極的に申し込みをしてきました。それにしても新潟県内の受講者数が伸びないのには驚きでした。せっかく県内で受講できるのに、全くもったいないと思っていました。

ようやく最近、実務者研修の意

義について理解し、自ら申し込む人や、施設から派遣される人が受講するようになりました。介護福祉士としてさらなるスキルアップを図ることができる良いチャンスなので、介護福祉士の資格取得後5年以上の実務経験を持つという要件を満たした人は、教員講習会にもぜひトライしてもらいたいです。

平成27年度の試験までは 実務者研修修了でメリットも

実務者研修は平成29年1月に実施される介護福祉士国家試験を受験するために不可欠な研修ですが、平成27年度（28年1月）に実施される国家試験についても、大きなメリットがあります。

今回（28年1月）の国家試験は、

実務者研修なしで受けられるラストチャンスですが、今年度の試験において、実務者研修を修了していると二次試験の実技試験が免除になるというメリットがあります。

実務者研修のカリキュラムそのものが、国家試験の科目に添っているため、実務者研修の内容を学ぶことで受験勉強もできるということも大きなメリットです。

また、介護過程を勉強すると、「これは困った」とか、「できない」とか言わなくなります。しっかりとした問題解決の思考法が身に付くのです。それは人生において、何か問題があった時にも、負のスパイラルにおちいることなく、前向きに自分の人生を組み立てていく気持ちや姿勢の基礎となるはずですよ。

介護の現場で27年、大学の教員になって11年です。これまでお世話になった皆様から学んだことを、実務者研修や教員講習会で活かすことによってお返しをしたいと思います。（聞き手 小田野 裕子）

理事長プロフィール

- ◆新潟医療福祉大学
社会福祉学部社会福祉学科 教授
- ◆社会福祉学修士、保健学博士
- ◆公益社団法人新潟県介護福祉士会 顧問
- ◆公益社団法人日本介護福祉士会 理事
- ◆公益財団法人日本レクリエーション協会 理事

介護福祉士を養成するための教育現場に身を置く一方、災害時介護も専門分野としており、阪神淡路大震災以降、被災地の介護ボランティア活動に積極的に携わっている。

講師 コラム



介護過程の学び

前田 喜代子

利用者が希望する生活の実現にむけて、意図的な介護を展開するプロセスを「介護過程」といいます。私が担当する「介護過程Ⅲ（講義）」では、このプロセス、つまり「考えのもっていきかた」を学びます。

講義をしていく中で、この思考のプロセスは、実際に介護現場にいる人ほど難しく感じるようだということが気が付きました。事例を読んでいる途中で、課題の分析よりも先に提供するサービスを思いついてしまい、そちらに意識が行ってしまう…その気持ちは解らなくもありませんが、介護の専門職としての介護福祉士には、サービス提供の前に、「利用者にとっての課題」から客観的なプロセスを踏んだ「これから提供するサービスの根拠」をきちんと理解しているということが求められます。

また、心身の状況に応じた介護、利用者一人ひとりについて尊厳の保持や自立支援の視点に基づく利用者を主体とした個別ケアは、多職種及び介護職同士が、連携して介護サービス利用者の生活目標を共有し実践していきます。チームで協働していく際にも、この介護過程をきちんと展開できるということが重要であることは言うまでもありません。

一方で「その人らしい生活を自ら選択できるよう支援する」介護職の仕事は、何よりもまず「気づく」こと。例えば、「利用者には字が書きたいという希望がある、でも利き手にマヒがあるから利き手交換すればいい」、と考えることは簡単です。でも実際、利用者にとってはどうでしょうか。「介護過程Ⅲ」では、利用者の立場を体験してみる、という演習をいくつか入れています。介護過程に、介護職のこのような気づきや共感が加わってはじめて、提供するサービスが「ただ行うだけのこと」ではなく、血の通った本当の支援となっていくのだと思います。

実務者研修で介護過程を学び、介護過程を展開していくことで、利用者の望む生活の実現を支援しましょう。

介護福祉士の専門性向上のための基本は、
「介護過程の思考法と、それに沿った介護実践」です。

研修案内 INFORMATION

新潟地域福祉協会 実務者研修（通信課程）

- 当協会の実務者研修は、厚生労働省「教育訓練給付金」対象講座です。
- 年4回（4・6・9・11月）開講
- 通信課題と月1回のスクーリングで修了
- 平成28年度（平成29年1月実施）から、介護福祉士国家試験を受験するには、3年の実務経験のほか、実務者研修修了が必須条件となります。

平成27年11月開講 実務者研修 受講申込受付中

- ◆受講期間：平成27年11月1日（日）～平成28年4月30日（土） ◆受講定員：24名
- ◆スクーリングの日程／科目／会場：

日程	時間	科目	会場
11/1(日)	9:30～15:00	開講式／コミュニケーション技術／人間の尊厳と自立	新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所2-2-2
12/5(土)	9:00～18:00	介護過程Ⅲ	
1/16(土)	9:00～18:00		
2/13(土)	9:00～18:00		
3/5(土)	9:00～18:00		
4/2(土)	9:00～18:00		
4/30(土)	9:00～18:30	介護過程Ⅲ／閉講式	
1/23(土) 1/24(日) ※いずれか1日	9:00～18:00	医療的ケア演習	グリーンタウン竹尾 新潟市東区竹尾2-19-5

- ◆受講料（テキスト代・税込）：

保有資格	受講料	保有資格	受講料
介護職員基礎研修修了	58,600円	訪問介護員研修3級修了	205,000円
訪問介護員研修1級修了	152,000円	介護職員初任者研修修了	185,000円
訪問介護員研修2級修了	185,000円	上記以外	210,000円

「新潟県介護福祉士会会員紹介割引」及び、最大6回の「分割払い制度」があります。

平成27年12月開講 実務者研修教員講習会 受講申込受付中

- ◆受講対象者：実務者研修の講師に就任する予定の方。介護福祉士としてスキルアップを目指す方。
- ◆日程：全6日間（6日間の全日程を受講することによって修了となります）

回	日程	時間	時間数	科目
1	平成27年12月26日(土)	9:00～20:00	9.5	介護教育方法
2	12月27日(日)	9:00～17:30	7.5	
3	平成28年 1月30日(土)	9:00～20:00	9.5	
4	1月31日(日)	9:00～12:10	3.5	介護過程の展開方法
		12:10～17:30	4.5	
5	2月27日(土)	9:00～18:00	8	実務者研修の目的、評価方法
6	2月28日(日)	9:00～11:30	2.5	
		11:30～17:30	5	
合計			50	時間

- ◆講師：一般社団法人新潟地域福祉協会 理事長 岡田 史 ◆会場：グリーンタウン竹尾1階 多目的室
- ◆受講定員：20名 ◆受講料：80,000円（税込） ◆テキスト代：13,824円（税込）

「実務者研修」、「実務者研修教員講習会」についての詳細は、当協会ホームページにてご確認ください。募集要項の郵送をご希望の方は、下記までお電話かFAXにてご請求ください（FAXの際は、送付先のご住所・氏名・電話番号を忘れずにお書きください）。

お問合せ先 一般社団法人新潟地域福祉協会 介護研修事業部
Tel 025-288-5229 Fax 025-288-5228 www.t-fukushi.jp



介護研修事業部
主任 岡田 良子

日々のあれこれ

いつもお世話になっております。

このコーナーでは、私たちの身近な出来事をレポートしたいと思います。ご一緒に楽しんでいただければ幸いです。

私ども一般社団法人新潟地域福祉協会の広報誌、記念すべき第1号となる今号ですが、実務者研修の制度や意義について、理事長が語ったインタビューを中心に掲載させていただきました。新潟ではなかなか浸透しづらい実務者研修ですが、平成28年度はもうすぐそこまで来ています。介護福祉士国家試験を28年度以降に受験される予定の方は、早めに準備を始めることをおすすめいたします。

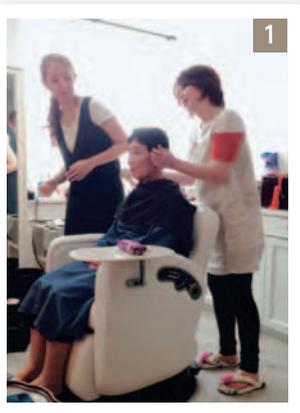
当協会の実務者研修は、入り口は易しく、出口では介護のプロとしての知識・技術を身につけて専門職としてのスタート地点に立つ、ということを目的としていますので、協会の講師の間では、教育方法、通信課題などをより良くしていくための取り組みを行っています。講師ミーティングはもちろん、事務局内でも、こうしたらもっと良くなるのでは、という視点を大切に日々努めています。

そんな日々の中、私たちの行く手を阻むものが…。段ボー

ルを移動しないと冷蔵庫が開かない！ロッカーに荷物を入れようとする、と、段ボールの角につまづく…決して広くない事務局はいつも、紆余曲折を経た資料や印刷物が段ボールに入って山になっています。今あるものの改善や手直しをやめて、決まったものを決まった数だけ持つ、というのであれば、恐らくこうはなりません。でも、常に考え、工夫をし、現状をより良くするための努力をする…この姿勢が、私たちの何よりの宝だと思っています。

先日、新潟日報「assh」で、株式会社トプカピ代表取締役の庭山仁美さんと理事長が対談させていただきました。トプカピさんといえば、今年20周年、新潟で4店舗を展開する老舗エステティックサロンです。ブライダル部門もあり、ヘアメイク+撮影などのサービスも提供されているとのこと。「なぜエステと介護？」という疑問は「assh」の記事をお読みいただくこととして、そのご縁で、理事長や講師陣のプロフィール写真を、トプカピさんをお願いすることにしました。

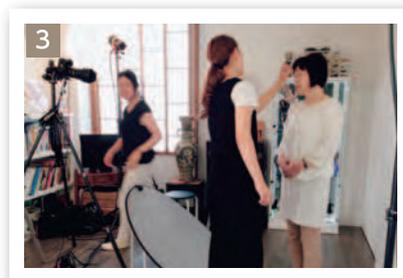
皆さん、ヘアメイクをしてもらってカメラマンの方から撮影してもらうのは結婚式以来…とのこと。せっかくですので、レポートさせていただきます。



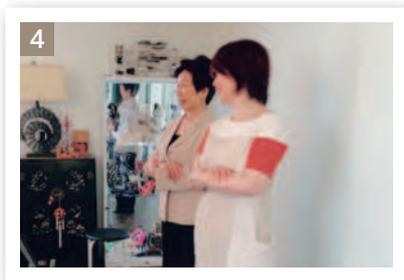
ヘアメイクをしてもらっているところです。メイクをされているうちに目に☆が入ってきます。



ヘアメイクを担当してくださった田中さん。撮影用といっても、濃いメイクではなく、ナチュラルな、雰囲気華やかになるようなメイクで、全員大満足でした。



撮影風景です。撮影の合間にもこうして細かなお直しが入ります。少し緊張しています。



撮影風景その2。庭山さんからポーズの指導が入ります。



撮ってもらった写真をチェックしています。撮影を終えてリラックスした雰囲気です。左はカメラマンの内藤さん。

このコーナーの私の写真も撮っていただきました。



いかがでしょうか？